

これまでの経緯

2 前回までの主な意見と対応状況（万騎が原小・二俣川小・瀬谷小共通事項1）

主な意見（要約）	前回までの対応	今回の対応（現時点）	備考
教科担任制の導入により、教室数や面積が不足する可能性がある。特に高学年で教科ごとに教室を移動する必要がある場合、既存の設計で対応できるか	多目的室や特別支援教室を整備して柔軟に対応。教育制度の変化には学校内で工夫して対応する方針。教室数は教員へのヒアリングをもとに検討済み。	多目的室や特別支援教室を整備し、柔軟に対応。	
再開発などにより児童数が一時的に急増した後、急減する可能性がある。施設の規模が将来的な人口減少に対応できるか。	令和7年度までの児童数推計をもとに計画。駅近の学校は児童数が減りにくい傾向がある。余裕教室が出た場合は教育用途を優先し、使い切れない場合は他用途への転用も検討。	建設着手前に最新の人口動向を反映した推計を再評価済み。一時的な増は、多目的室や特別支援教室を活用して柔軟に対応。	
校庭や体育館が使えない期間に、児童の避難場所や体育の授業をどうするか。地域防災拠点としての機能を維持できるか。	体育館は先行整備し、常に機能継続できるようにする。校庭は使えない期間があるため、近隣施設の利用を検討。地域と協議しながら避難計画を進める。	各校の説明資料に記載	

これまでの経緯

2 前回までの主な意見と対応状況（万騎が原小・二俣川小・瀬谷小共通事項2）

主な意見（要約）	前回までの対応	今回の対応（現時点）	備考
CASBEE横浜の評価だけでなく、災害時の電源確保や調整池の整備など、環境を通じた減災対策も検討すべき。	太陽光発電と蓄電池を導入予定。調整池は必要に応じて関係局と調整して整備。	太陽光発電設備の設置スペースを確保。竣工後に市内の他の学校と合わせてPPA事業で整備予定	